A close-up photograph of a wooden plank, showing a prominent knot hole. The wood grain is clearly visible, and the knot hole is a dark, circular opening with some internal structure. The plank is part of a larger wooden structure, with other planks visible in the background.

平成27年度 美山木匠塾

活動報告書

美山 について



南丹市美山町は京都府の中部に位置し、その大部分を森林が占める自然豊かな山間地域である。
美山町は古くから農林業を生業としている。さらに美山町には日本にわずかなかやぶきの里があり、その景観は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。今日では、国内のみならず海外からの観光客も増えている。

目次

01

美山について

03

ヤタイ「棧」

07

すべりデッ木

11

運動会

13

感想

17

美山木匠塾の取り組み



2015年度 京都府立大学チーム



2015年度 摂南大学チーム

ヤタイ「棧」製作



初期の案の模型



当日の作業前のミーティングの様子



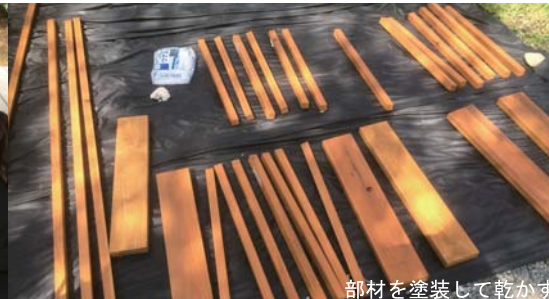
部材のカット



現地プレゼン1回目



現地プレゼン2回目



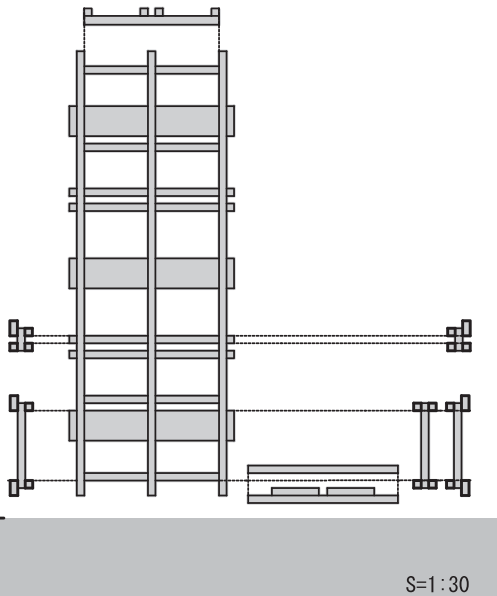
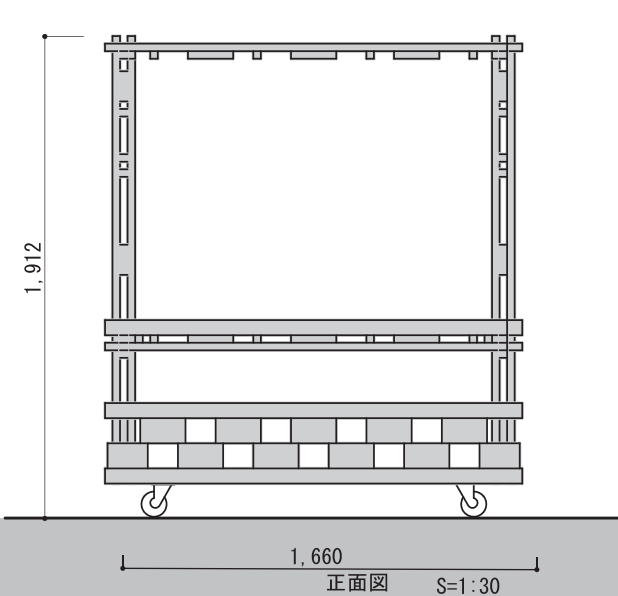
部材を塗装して乾かす



ヤスリがけ



組み立て



完成!

ヤタイ「棧」(さん)

ヤタイ「棧」は2014年9月から計画が始まった。はじめのころは何もかもが初めての体験でとても戸惑いながら取り組んでいた。ヤタイを制作するにあたって様々なアイデアを出し、多くの意見を交わした。2015年3月と7月に美山の現地に区長さんや職員の方に、模型や資料を使ったヤタイの案のプレゼンを行った。実際に使っていただく方たちからの意見も多く取り入れることができた。多くの人のアイデアを「棧」には詰め込んだ。

製作作業 2015.0909-0910

2015年9月ヤタイの製作は行われた。作業は材料の3つにのチームに別れて行き、お互いに協力しあい各パーツをつくり上げていった。部材のカットは基本はこのぎりを使うなど、極力機械に頼らないことを心がけたため作業が大変なこともあった。最後組み上げられたヤタイは思った通りのもので、とても嬉しく思った。このヤタイがこれから美山で様々な場面に登場してくれることを期待している。



地域の感謝祭にヤタイと製作者が参加



地域の感謝祭の様子

棧

—地域のかけはし—



山間地域の林業の衰退が懸念される中、屋台は、憩いの場や遊び場等になることによって、地域の人々、特に子ども達が自然と地元材に触れて、木に愛着をもつきっかけとなる。

また、触れ合うのは地域の人達だけではなく、我々学生も同じである。林業の賑わいは山間地だけでなく都市部との繋がりが不可欠となる。屋台は、地域を越

えて人と人とを結び付ける。そして、その生まれた交流が山間部と都市部を渡す「かけはし」となる。

南丹市美山町は京都府の中央部に位置し、その大部分を森林が占め、自然が豊かな山間地域である。このヤタイ「棧」は地元材の北山杉で作られたハシゴ型のパーツからなる屋台である。「棧」は形を変え、様々なイベントにおいて、人の心のかけはしとなるだろう。



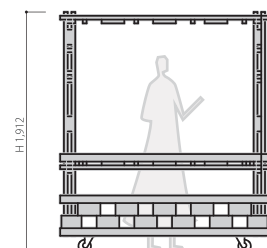
各パーツはハシゴとしても使える



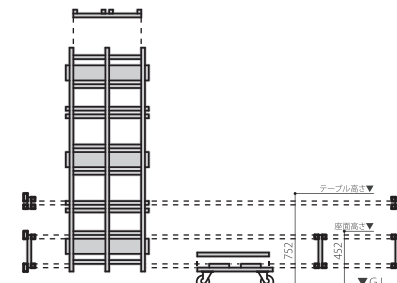
ハシゴ型のパーツは、分解する事で車での運送が容易となる。



ヤタイ「棧」



正面図 S=1:30



側面図 S=1:30



2015年 京都・美山町 大野地区でヤタイ「棧」をプレゼン、秋の感謝祭において製作発表をおこなった。

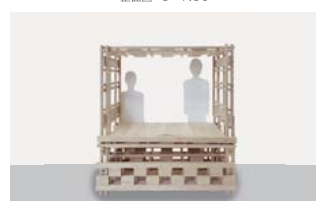


2014年 川上村地域おこし協力隊の野菜販売、奈良・吉野町のヤタイを見て「欲しい!」と要望頂いた。大阪・天満橋のイベントでも活躍。



2013年 奈良・吉野町の木材イベントにおいて即興ヤタイの製作依頼を頂き、ヤタイ「はしごよう!」を製作。

ヤタイ「棧」(2015)
この屋台は、2013年より製作していたヤタイ「はしごよう!」を基とし、美山町の人たちの要望に合わせて新たな機能を盛り込んだヤタイである。例えばヤタイの梁の高さを変え、板をかけることで、3つの使い方ができる。ベンチとして使えるベンチスタイル、テーブルやイスとして使えるテーブルスタイル、ヤタイのようなカウンターとして使えるヤタイスタイル。様々なスタイルで地域のイベントなどに対応できることを目指した。また、ヤタイは各パーツに分解できる。分解することによってコンパクトになり、収納や持ち運びが楽になる。その携帯性の良さにより各場所へ軽トラック等で移動することができる。その他にもハシゴの形をしたパーツは、災害が起こった際に瓦礫の上に置いて足場として利用することができる。さらに、スタイル方法が固定されていないわけではないので、使っていくうちに独自の新しいスタイルを確立していく楽しさも生まれる。



「棧」ヤタイスタイル：物販イベントやお茶の会合に。



「棧」の製作風景 イベントのため「棧」にガス調理器具をセット



「棧」ベンチスタイル：井戸端会議や、休憩所に。



「棧」テーブルスタイル：ミーティングなどに。



「棧」独り占めスタイル：一人の時間を楽しんだり、時には電車ごっこなどに。

「すべりデッ木」

～9月9日, 10日～



▲寸法計測、部材切り出し



▲切り出した部材の加工、塗装



▲組み立て



▲組み立て



▲完成

美山町大野地区 わんぱく公園計画

木に触れて育つ屋外のおそびば



2015年11月の大野地区ちびっこ広場。「わんぱく公園」がいくつかのイベントで活躍していると、ちびっこ広場はもとの静かな広場に戻る。



ちびっこ広場：集落の真ん中に、こどもたちのための広場がある。

この計画は、美山町大野地区ちびっこ広場を、木造の公園にしようとする試みです。京都府南丹市美山町は、かやぶきの里として知られ、美山町の木造史の一翼を担う木造公園になる事を目指しています。木造遊具のわんぱく公園は大きな積み木、固定せず、移動が容易な遊具なので、離れた地域のイベントでも活躍します。わんぱく公園は、より楽しめる公園になるよう、地域の子供たちと共に育ててゆきます。



大野地区ちびっこ広場には、天満宮や鹿沙門堂、土俵があり、こどもたちの健やかな成長を見守る場所として、地域の人々に守られてる。



2015年
すべりデッキの組立 地域材(杉)の加工 大野地区・現地ヒアリング



「積み木デッキ」のおそびをアクティブにする「すべりデッキ」1台と「積み木デッキ」1セットを設置



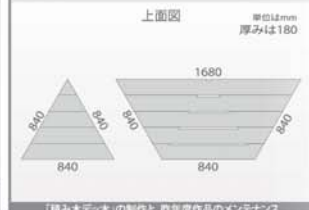
「すべりデッキ」の設計と制作、「わんぱく公園」にこどもたちの目が輝く瞬間はあきらめず待てる



2014年
国産の自然塗料を塗布 積み木デッキの増産



台形と三角形のデッキ「積み木デッキ」4セットを増産



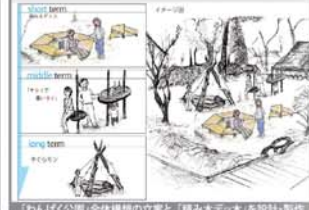
「積み木デッキ」の設計と制作、地域のイベントで活躍する



2013年
地域材(杉)によるデッキの製作 大野地区・現地ヒアリング



台形と三角形のデッキ「積み木デッキ」3セットを設置



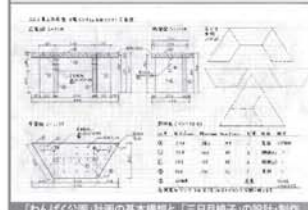
「わんぱく公園」の設計と制作、「積み木デッキ」の製作



2012年
地域材(杉)による椅子の製作 美山町・現地ヒアリング



台形のデザインは組み合わせて多様な形を生む



「わんぱく公園」の設計と制作、「積み木デッキ」の製作



年間を通した美山町のイベント(抜粋)

- 4月 大野ダムさくら祭り
- 5月 お田植え祭
- 8月 上げ松(火祭り)
- 10月 大野地区運動会、感謝祭
- 11月 大野ダムもみじ祭り
- 12月 かやぶきの里一言放水
- 2月 冬火花・雪灯籠



わんぱく公園の使われ方は、さまざま
井戸端会議のイスとして、
積み木デッキを積み重ね、
すべりデッキの中は隠れ家にも、
イスとして使われるデッキ、
秋の感謝祭では、テーブルとして積み木デッキが使われる、
都市部の学生により「わんぱく公園」は形作られる、



くまをのこももたち、木肌がきもちいい、
すべらないように、みんなできっつばる、

運動会



10月11日、大野地区で開催された運動会にヤタイとすべり台の発表を兼ねて参加させてもらった。

大野地区運動会は、地域の子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人々の愛されている地域の運動会である。制作物の発表だけでなく、全員リレーなど実際に運動会にも参加することで大野地区の方々と交流するきっかけとなった。

制作物発表では、どのような意図でヤタイ、すべり台ができたのか、完成するまでの過程や使い方などを地域の方に報告した。

運動会後には調理器具を設置したヤタイで、地域の方々に焼肉を振る舞った。実際にイベントで使用するのは初めてだったが、無事成功した。

すべり台は、運動会の最中でも子どもたちに人気があり、終始賑わっていた。制作は大変だったが、子どもたちが元気に遊ぶ姿を見て、嬉しかった。当日は事故もなかったが、すべり台本体とデッキが固定されていないため、その隙間に指などをはさむ恐れがあることにも気づいたので、その点も次に活かしていきたい。

京都府立大学 木匠塾メンバー感想

京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科2回生 淡路谷直季

美山木匠塾の活動は非常に貴重な経験になった。計画して実際に制作して、使い手に引き渡すということすべてを初めて体験し、様々なことを学ぶことができた。ここで学んだことは、将来きっと役に立ってくれると思う。また、この活動は多くの人が支えてくれて動いている。先生や美山の方々、木匠塾のメンバーの力が良い物を創り出したのだと思う。僕が学生幹事という役割を続けてこれたのもみなさんのおかげである。美山木匠塾に参加できたことに本当に感謝したい。

京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科2回生 鍵井太貴

木匠塾のおかげで充実した1年となった。一から自分達の作りたいものを設計し、実際に形にすることは初めてだったからだ。何ヶ月もどんなものにするか悩んだが、たった2日で完成したヤタイはどれだけ設計に時間がかかるのか、どれだけ意見をまとめることが難しいのか実感できた作品となったと思う。今後も地域の方々や学生との栈になるようなこの活動を続けていきたいと思う。1年間お疲れ様でした。

京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科2回生 谷口悠貴

今年度は色々な経験ができた1年でした。ヤタイではアイデア段階から設計、製作までを自分達の手で行えました。特に今回は製作物を実際に美山町の人達にお披露目出来たことが大きな経験になりました。地域の人のこれいいなあという言葉は素直に嬉しいですし、同時に次の年に向けての要望も頂けたのは大きい収穫だったと思います。来年度に向け、ヒアリング調査もありませんのでさらに地域密着した提案が出来るのではないだろうか楽しみです。

京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科2回生 平松優生

私は、木匠塾の活動を通じて、モノづくりの原点を学ぶことができたのではないと思う。自分たちで屋台のデザインを考え、屋台を実際に使う側の人の要望を聞き取り、アイデアを詰めていき、機能を付け加えていく。さらに、仕上がった図面を見ながら、自ら木材を切り、組み立てることで自分たちのデザインが形となっていく。モノを生み出す際に必要な過程を学ぶ貴重な体験ができたのも、木匠塾だからこそ可能であったと感じる。

京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科2回生 向井亜美

木造建築に興味があったこと、もの作りが好きなことがきっかけで木匠塾に参加しました。ヒアリングを行い製作をし、プレゼンをするという機会は普段の授業ではないので非常に貴重な体験であったと思います。また、木匠塾の活動を通して、日本の林業の問題、木材の有効な活用方法を知ることができました。

普通の大学生活では体験できない様々な活動に参加させてもらい、本当にありがとうございました。皆さんお疲れさまでした。

京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科1回生 井上あい

木材や木造建築に興味があったので地元の木を使ってモノ作りをする木匠塾はとても魅力的でした。自分たちで考えたものを図面にし、制作までするというのは授業ではできない経験です。初めてノコギリを使って木を切った時は感動しました。また、屋台のお披露目会で現地にお邪魔した際、地域の方々や実際に触れ合う貴重な経験ができて本当によかったです。建築だけでなく関わりの深い林業や山村について考える機会にもなったことが自分にとって大きかったです。

京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科1回生 林咲予子

昔から建築に興味を持っていて、府大の環境デザイン学科に入学しました。授業の課題でも、自分で考えたアイデアで作品を作ることがあるけれど、それを実際の大きさに作ることはしません。しかし、木匠塾では発想から設計、製作までを、さまざまな人の手を借りながらも自分たちでします。普通に授業を受けているだけではできない経験ができることに、魅力を感じています。次の年からは、自分たちの代が中心になっていかなくてはならないので、先輩たちを見習ってがんばりたいと思います。

京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科1回生 仲田早穂

先輩の紹介で何となく入った木匠塾でしたが学生が考えて作った図面から実際に木を使い、作り上げるという貴重な体験をさせていただきました。のこぎりを持つのも木を切るのも初めてのことで難しいことが多かったですが実際に物を作るというところまでは授業でもしたことがなかったのでとてもやりがいを感じました。

京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科1回生 中村優実

1年間木匠塾の活動に参加させていただいて、企画を考えることやプレゼンすること、そして実際に作ってまとめをするという一連の流れを大学生のうちに体験できたことは、私にとってすごく貴重な経験になりました。この経験を、大学での実習などに活かしていきたいと思います。

京都府立大学 松原斎樹先生

今年の美山木匠塾は、画期的な盛り上がりを見せました。羽原さんのリードもさることながら、学生諸君の積極的な姿勢がよかったと思います。大野地区の運動会で、すべり台に群がって遊ぶ子ども達の姿に感動しましたし、ヤタイと学生達を歓迎して下さった住民のみなさんには感謝の気持ちで一杯です。人と環境にやさしい建築系学生が育つことを期待して、及ばずながら応援してきたかがありました(戸田さんにも感謝しています)。これからも、学生の成長に寄り添って、地域貢献のお手伝いができるとうれしいと思っています。

僕は、木匠塾に入って大変よかったと思います。大学の授業ではできない経験をたくさんしたと思います。他大学との交流や、地域との交流は大変いい経験になったと思います。そのなかで友達も増え、大変充実した学生生活を送ることができました。また、これからは木匠塾で得た経験、知識を活かし、たくさんの方に挑戦し、自分のスキルアップをはかっていきたいと思っています。

もう一度いいですが、本当に木匠塾に入ってよかったと思います。

摂南大学 理工学部建築学科 2回生 浅田惇

美山木匠塾に参加して、制作幹事として滑り台を摂南大学のメンバーで作ってきました。話し合いを繰り返してデザインや構造、木育など大学では学べないようなことを体験しました。地域の活性化に繋がる滑り台を作り、わんぱく公園を盛り上げることが出来る作品が出来上がったと思います。美山町の大野地区で行われた運動会のお披露目会では、自分たちの制作した滑り台が子どもたちに楽しく遊ばれていて頑張ってきてよかったと思いました。

摂南大学 理工学部建築学科 2回生 阿南翔馬

実際に物を一から考え、設計し、制作する工程が経験できるので木匠塾に参加しました。実際に制作する中で、ものづくりの難しさや楽しさを知ることができました。美山町の運動会に参加した時に、自分たちが作った滑り台で子どもたちが遊んでいる姿を見て達成感を感じることができました。また、企業見学や建築の見学ができたことで自分の視野が広がりました。多くの経験ができたので木匠塾に参加して良かったです。

摂南大学 理工学部建築学科 2回生 熊本崇人

地元の木材を使って自分たちがデザインしたものを自分たちの手でつくり、完成したものを現地の方に提供するという木匠塾の活動に魅力を感じ、自ら参加しました。

しかし、実際に物作りを一から手掛けることの大変さを身にしみて感じました。完成まで辿り着けるか不安もありましたが、なんとか仕上げることが出来ました。

完成したすべり台やデッキで現地の子どもたちが遊んでいる姿を見て達成感と感動を覚えました。

摂南大学 理工学部建築学科 2回生 後藤祐理子

何度も話し合っ、模型を作って、試行錯誤を繰り返して大変な時もあったが、学生幹事や制作幹事は私とは比べものにならないくらいしんどかったと思う。木について学ぶことができたのは私にとって大きい。これまで、木造の建物や木でできたものは身近にあっても、それらがどのようにして造られているのかはよく分からなかった。木匠塾に参加したことで少しでもそれを知ることが出来たと思う。本当に貴重な経験をさせていただいた。ありがとうございました。

摂南大学 理工学部建築学科 2回生 高木梨奈

約一年間木匠塾に参加してきて学校の授業だけでは学ぶことができないたくさんの方のことを学ぶことができました。木匠塾の取り組みが始まった頃は一回生で建築のことをまだまだ知らず、設計のための技術もなくて大変なこともありましたが。しかし先生に助言を頂いたり、皆で協力して取り組むことによって一つの制作物を終わるところまですることができました。

また取り組みの一環として設計事務所の見学に行ったり、安藤忠雄さんの建築物を見学に行けたりと貴重な経験をすることもでき、木匠塾に参加することができ良かったと思います。

摂南大学 理工学部建築学科 2回生 塚本雄人

今回木匠塾の活動を経験することができて良かったと思う。授業だけでは経験できないことをたくさん経験させてもらったと思う。部材の発注から加工をして、美山町の人々の所に届けるまでの工程を自分達で実際に行ってみて、初めは分からないことだらけで思うように作業が進まなかった。学校の課題とも並行して行う必要があったため、とても大変でした。ただ制作物が完成し、それを使ってくれていた人達の笑顔を見るととても嬉しかった。

摂南大学 理工学部建築学科 2回生 藤井順康

木匠塾では先生のアドバイスを頂きながら提案→計画→作成の一連の流れを経験することができました。私は、摂南大学の学生幹事を務めていました。みんなをまとめるのはとても大変でした。しかし、合同で一緒に活動していた京都府立大学との関わりが他の人より多かったり、大野地区で行われた運動会の時にプレゼンテーションや新聞記者のインタビューなど幹事でないと出来ない経験をさせてもらったので木匠塾の活動に参加して良かったです。ありがとうございます。

摂南大学 理工学部建築学科 2回生 安田美沙紀

木匠塾に参加させて頂いて思ったことは二つあります。

まず一つ目に僕たちは建築学科で設計やその他建築に関わる勉強をさせていただいている訳ですが、自分たち学生が設計から実際に形に残るものを創っていくというなかなか経験することが出来ないことをこの木匠塾で経験することができて良かったと思います。

二つ目に、その作ったものを地域の方々へ受け渡し、反応を見れたことがすごく嬉しかったです。

木匠塾ではとても良い経験をすることができたと思います。

摂南大学 理工学部建築学科 2回生 吉田裕紀

木がどのようにして材木となるのか、美山木匠塾に参加したことで考えるようになり、知ることが出来た。木に触れる機会が増え、木を知っていくことで木造建築はもちろん、建築についてより深く考えるようになり、木を活かすということについても考えるようになった。

現地で育てられた木を使って自分たちが提案した制作物を作り上げ、長い時間をかけて木育広場を形成し地域に根付かせていくというこの地域貢献に繋がる活動はとてもやりがいがあり、充実したものだ。

摂南大学 理工学部建築学科 2回生 渡部瑞貴

2015年度活動報告書

2016年3月31日発行

発行元

美山木匠塾 事務局

発行・編集

羽原 康成 (美山木匠塾事務局)

〒596-0005

大阪府岸和田市春木旭町36-34

TEL 090-9887-0852

美山木匠塾・参加大学

京都府立大学

学生幹事、代表幹事

淡路谷 直季 (京都府立大)

(2年生5名、1年生4名)

摂南大学

学生幹事

安田 美沙紀

(2年生10名)

2015年度製作物設置地域

京都府南丹市美山町大野地区

ちびっこ広場

協賛

南丹市美山町 美山産業建設課

株式会社大阪塗料工業

丸善ボタン株式会社

公益信託 大成建設自然・歴史環境基金

※この報告書は、公益信託 大成建設自然・

歴史環境基金平成27年度助成により

製作されています。

美山木匠塾の取り組み



京都府南丹市美山町大野地区
製作活動 「わんぱく公園」計画
現地ヒアリング・設計・製作・製作発表の他、地域とのイベントや建築系コンペへの参加を通じ、木造建築・環境について学ぶ。
2015年度は、屋台、デッキ、すべり台を製作した。これらは、2012年より始まった、屋外木育公園計画を、時間をかけてつくりあげる取り組み。



川下企業見学会 (2015年実績)

- ① 建築設計室Morizo- 木造住宅
- ② 株式会社日建スペースデザイン インテリアデザイン
- ③ 株式会社内田洋行 インフィルシステム
- ④ パワープレイス株式会社 インテリアデザイン

実際の設計現場を訪れ、実際の設計者の生の話を聞く事で、どのような意識で木を設計に採り入れるかを知る機会となる事を目指した。



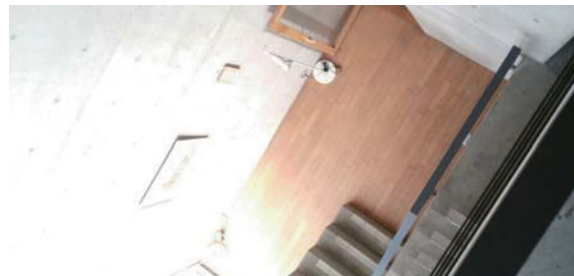
建築見学会 (2015年実績)

「日本橋の家」

設計:安藤忠雄

レクチャー:金森秀治郎(住まいて)

RC造の建物も型枠など多くの木材を使用している。見学を通じて、都市住居や立体的空間構成と共にすまいにおける木の使われ方について視野を広げる機会となる事を目指した。



2015年度の製作活動は、現地ヒアリングを基としたデザイン案の設計、製作図の作成、実際の製作、美山町での現地発表を経て、製作物を建築系コンペに提出するという、一連の取り組みを、1年を通して実施する事ができた事は意義深い。また、拠点である美山町で製作活動を行うだけでなく、川下地域の実際の職場を見ることによって、木がどのように生産・加工され、消費されてゆくのか、その一連の流れを垣間見る事ができる。川下企業見学会や建築見学会においても、第一線で活躍する企業や建築家の仕事を垣間見る機会を得る事ができた。

少し遠い未来に向けて、どういった一歩を踏み出すための製作を行うか。学生たちが、その道筋を、自ら切り開いていく力が養える活動にしていければと思う。(美山木匠塾 事務局兼塾長 羽原 康成)